

共に助け合い 恵まれた自然環境を活かしたまちづくりを みんなで進めましょう！

赤坂学区の地域まちづくり計画



あかるい



赤坂小学校とメタセコイアの木

赤坂学区の
イメージキャ
ラクター、
「あかつ木い」。
赤坂小学校の
メタセコイア
の妖精です。
よろしくね！



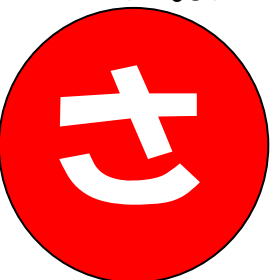
かおが



河手川清掃活動



夏まつり盆踊り大会



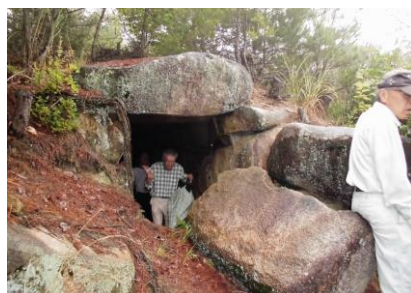
さんさんと



敬老会



かがやくまち



スベリ岩1号古墳



総合防災訓練

赤坂学区の地域まちづくり計画とは？

「赤坂学区の地域まちづくり計画」は、2014年（平成26年）3月に策定されました。福山市では、「協働のまちづくり」を進めています。これは地域と行政等が協力連携し、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という、「市民が主役のまちづくり」の考え方を表現しています。そして、この「まちづくり」の指針となるものが、「地域まちづくり計画」なのです。

今回、策定から5年が経過することや、自然災害や子どもの安心・安全への不安が増加していることなどから、若干の見直しを行いました。

改めて、共に助け合い、恵まれた自然環境を活かしたまちづくりを、みんなで進めていきましょう。



赤坂学区まちづくり推進委員会

具体的な事業計画

事業を「教育」「環境」「福祉」「活力」「安心・安全」「人権」の6分野に整理して取り組みます。

1 教育

- ・ 子どもに対し、町民が気軽にあいさつや声掛けなどを行うことにより、地域ぐるみで子どもを育むまちをつくる。
- ・ 子どもが、郷土への愛着心を持ち、心豊かに成長できるまちをつくる。



具体的事業と役割分担等

事業名	事業内容	実施主体			今後の方向性	
		学区	協働	行政	継続	拡大
あいさつ運動	校門, 各地域でのあいさつ	○			○	
地域見守り支援	自宅近所で子どもの見守り	○				○
ふれあい交流事業	小学校や保育所との交流	○			○	
本の読み聞かせ	4年生までの児童への読み聞かせ	○			○	
放課後子ども教室	放課後の児童の居場所づくり	○			○	
⑧放課後チャレンジ教室	4年生以上の児童の学習支援	○			○	
伝統芸能継承事業	神楽, 花踊り, 胴鉦踊(どうかね)の継承	○			○	
史跡めぐり	町内史跡めぐりウォーキング	○			○	

2 環境

- ・ 学区の「特色・強み」であると町民が自負している「町の美観と自然環境の調和」をさらに進めるため、河川や里山、道路などにおいて、快適で美しい環境をつくる。



具体的事業と役割分担等

事業名	事業内容	実施主体			今後の方向性	
		学区	協働	行政	継続	拡大
環境美化作業	河手川の除草, 清掃	○				○
町内一斉清掃	各町内会一斉清掃	○			○	
⑧環境学習事業	小学生の環境学習活動の支援	○				○
里山整備事業	里山の除草, 清掃		○		○	

3 福祉

- ・ 就学前の子どもを育てる保護者が、安心して子育てができるまちをつくる。
- ・ 高齢者等が地域でのびのびと安心して生活でき、気軽に地域参加ができるまちをつくる。



具体的事業と役割分担等

事業名	事業内容	実施主体			今後の方向性	
		学区	協働	行政	継続	拡大
高齢者支援事業	高齢者の見守り	○			○	
献血推進	献血の啓発, 受付		○		○	
敬老会開催	長寿者表彰, アトラクション		○		○	
給食・配食サービス	弁当を高齢者世帯へ配付	○			○	
いきいきサロン	コーラス, お茶会ほか	○			○	
老人福祉施設の訪問	清掃ボランティア	○			○	
リサイクルマーケット	遊休品の販売会	○			○	
夏休みラジオ体操	子どもと一緒にラジオ体操	○			○	

4 活力



- ・住民の連帯感を高め、「住みやすい」との実感が持てるまちをつくる。
- ・各種行事の内容を工夫して魅力を高め、参加者を増やす。

具体的事業と役割分担等

事業名	事業内容	実施主体			今後の方向性	
		学区	協働	行政	継続	拡大
夏まつり	お盆法要, 盆踊り, 夜店	○			○	
町民運動会	小学校と合同の運動会	○			○	
ふれあい福祉まつり	ふれあい広場, 福祉相談コーナーほか		○		○	
町内一周駅伝大会	ブロック対抗駅伝競走	○			○	
各種スポーツ大会	ソフトボール, 卓球, ソフトバレーボールほか	○			○	
子どもまちづくり委員会	子どもによるまちの活性化への提案や取組	○				○
学区のイメージキャラクターの作成	学区の「ゆるキャラ」を作成し, 広報等で活用する	○			○	

5 安心・安全



- ・急病時や自然災害時において、高齢者一人世帯等を地域が支援する仕組みをつくる。
- ・交通事故のない安全なまちをつくる。

具体的事業と役割分担等

事業名	事業内容	実施主体			今後の方向性	
		学区	協働	行政	継続	拡大
防災訓練	学区全体訓練, 町内会別訓練		○			○
人命救助リーダー研修	リーダーの訓練・研修		○		○	
災害ボランティア活動	学区内の被災世帯で町内会から要請のある世帯への支援活動		○		○	
避難行動要支援者制度の充実	高齢者や障がい者等への緊急時の支援と日常的な見守り		○			○
子どもの登下校時の見守り	学区全体で見守り	○				○
子ども110番の家	協力者確保, 看板表示		○		○	
早朝交通指導	警察官と連携した指導		○		○	
歩行者等危険箇所抽出	危険箇所の調査・要望		○		○	

6 人権



- ・子どもから高齢者まで一人ひとりの人権を尊重して、共に助け合う、明るく住みよいまちをつくる。

具体的事業と役割分担等

事業名	事業内容	実施主体			今後の方向性	
		学区	協働	行政	継続	拡大
町内会別住民学習会	13町内会13集会所		○		○	
団体別学習	保育所保護者会や体育会等の団体の人権学習		○			○

赤坂町の沿革と現在

赤坂町は、1889年（明治22年）に赤坂村と早戸村が合併して一村となったもので、元の村名は大字として残っています。その後、1956年（昭和31年）10月1日に福山市に編入合併されました。

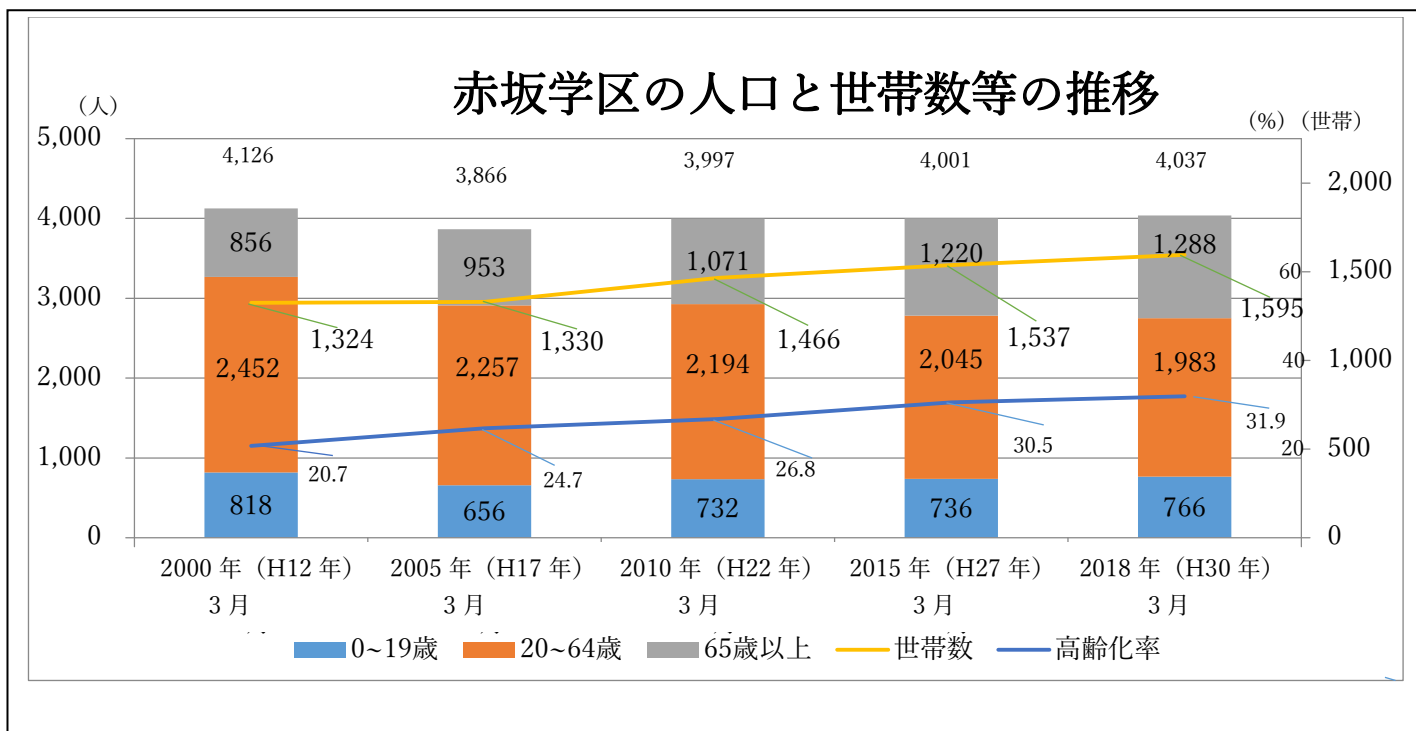
交通体系は、JR山陽本線の備後赤坂駅が町の玄関口となっており、道路は、国道2号（赤坂バイパス）と県道54号がJR山陽本線と同様に町を東西に横断するとともに、松永方面へ通ずる農免道路「市道金江瀬戸幹線」が南北に延び、芦田町へ通ずる道路「市道赤坂幹線」が北に延びています。

産業は、昔から米作りとイ草やブドウの栽培、また、石材の切り出しが行われてきましたが、近年、イ草の栽培と採石業はなくなり、農業の担い手も高齢化し、宅地化や耕作されない農地が増えています。

赤坂は、現在も自然環境に恵まれた地域ですが、近年、大小の住宅団地が開発され、転入者も増えつつあり、新しい風を吹き込んでいます。

赤坂学区の世帯等の状況

（高齢化率：65歳以上人口が総人口に占める割合）



「あかっ木い」が見る赤坂学区の現在



上のグラフから見ると、一旦減少した人口は、2005年（平成17年）頃から少しずつ増え始め、現在は4,037人となっています。これに対し、世帯数は増加の一途をたどり、2000年（平成12年）と比べると、271世帯も多くなっています。なお、グラフには表していませんが、町内会加入率は2010年（平成22年）に74.4%だったものが、71.7%までさがっています。

こうしたことから、学区内では、高齢者のみの世帯や核家族化が進むなどの、ライフスタイルの変化が感じられます。そして、高齢化率も、ここ8年で約5%増の31.9%となり、急速に高齢化が進んでいることがわかります。

こうした課題の解決に取り組むため、高齢者や子育て世代への支援など、人と人とのつながりを大切にするまちづくりが求められています。

赤坂学区まちづくり推進委員会の構成団体(名簿掲載順)

自治会連合会（長者ヶ原・鈴谷・中組・一番組・中央・竹之下・上組・道上・早上・江木・安井・下組・東和苑）、赤坂小学校、行政職員の会、福祉を高める会、体育会、小学校PTA、公衆衛生推進委員会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、赤坂保育所、自主防災協議会、地域安全推進委員会、南防火協会赤坂支部、西交通安全協会赤坂支部、民生・児童委員（主任児童委員）、青少年育成協議会、消防団赤坂分団、土木常設員、土地改良区、赤坂駐在所、ふれあい芸術部会、明るい選挙推進協議会、公民館

発行 2019年（平成31年）3月
赤坂学区まちづくり推進委員会
（赤坂公民館 ☎ 951-1001）